

事務事業名		下水道施設維持管理事業(都市下水道)		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業																									
政策体系	政策名	06 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目																									
	施策名	27 自然環境の保全		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款																								
	基本事業名	01 河川・湾内の水質保全		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成5 年度～)		13	01																								
根拠法令		下水道法		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		01	02																								
所属	部課名	都市整備部下水道事業所		※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分																									
	課長名	熊井 勝幸				A 政策事業 B 施設整備																									
	係名	業務係	電話			0192-27-3111	C 施設管理 D 補助金等																								
	担当者	今野 魁斗	内線			201	E 一般(A～D以外)																								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
<p>雨水や家庭雑排水等を速やかに排除するため、都市下水路の修繕、土砂撤去及び除草作業等の維持管理業務を行う。</p> <p>・主な業務は、都市下水路の外観点検、水門の動作確認、修繕工事、土砂撤去及び除草作業である。修繕や土砂撤去等は主に業務委託により実施しているため、委託契約締結事務、履行確認及び支払事務を行う。</p> <p>・事業費は、修繕工事、土砂撤去及び除草作業等に係る委託料として支出される。</p> <p>・下水道損害賠償責任保険へ加入。</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
	一般財源																														
	事業費計(A)	0																													
	人件費	正規職員従事人数																													
延べ業務時間																															
人件費計(B)		0																													
トータルコスト(A)+(B)		0																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

都市下水路の修繕工事及び土砂撤去の委託
土砂撤去作業及びそれに伴う車両等の賃貸契約
下水道損害賠償責任保険への加入

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

都市下水路の修繕工事、土砂撤去及び除草作業等の委託
下水道損害賠償責任保険への加入

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

都市下水路

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

都市下水路の土砂撤去や除草作業により、環境の美化を図るとともに、速やかに雨水等を排水できるようにする。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 修繕工事	件
イ 土砂撤去量	m ³
ウ 除草実施延長	m

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 都市下水路延長	m
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 苦情・要望件数	件
シ	
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	4,425	1,479	1,003	1,982	1,995	3,000	
		一般財源	千円							
	事業費計(A)		千円	4,425	1,479	1,003	1,982	1,995	3,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	10	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	30	150	50	50	50	50	
		人件費計(B)	千円	120	600	200	200	200	200	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	4,545	2,079	1,203	2,182	2,195	3,200
⑤活動指標		ア	件	1	1	0	0	0	0	
		イ	m ³	358.1	105.0	11.0	132.0	514.0	100.0	
		ウ	m	0	0	170	0	320	100	
⑥対象指標		カ	m	5,258	5,258	5,258	5,258	5,258	5,258	
		キ		—	—	—	—	—	—	
		ク		—	—	—	—	—	—	
⑦成果指標		サ	件	0	1	0	0	1	0	
		シ		—	—	—	—	—	—	
		ス		—	—	—	—	—	—	

事務事業ID	0709	事務事業名	下水道施設維持管理事業(都市下水道)
--------	------	-------	--------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	土砂の堆積や雑草の繁茂により水路が溢れたり、悪臭等の発生の原因となることから事業に着手した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	水害の発生を未然に防ぎ、衛生的な環境を維持している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	住民等から、土砂撤去及び除草等を要望される。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？ 都市下水道の適正な維持管理は、雨水や生活雑排水等を速やかに排除することができ、河川・港湾の水質保全と生活環境の整備が図られる。また、浸水の防止及び災害の予防にもなる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の適正な維持管理は、市の義務であり、雨水排除は浸水防止等都市機能の保全に効果を発揮し、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 都市下水道を適正に維持管理することにより、生活環境の整備が図られ、公共用水域の水質を保全することができる。また、近隣住民からの苦情・要望等の件数は、適正な維持管理を行っているかを判断する指標となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 既存施設の機能確保のための事業であることから、成果の向上余地はなく現状を維持する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 事業を廃止・休止すれば、都市下水道に土砂等が滞留し、雨水や家庭雑排水等を速やかに排除できなくなり、悪臭等の発生により環境が汚染される。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 既設施設の維持管理の費用であり、事業費を削減することは、施工数量の減少を伴うことから困難である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 業務は主に委託により実施しているため、必要最小限の人員で事業を行っていることから、削減することは困難である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 雨水排除の費用は公費負担の原則どおり、全額一般会計からの基準内繰入金で賄われているので適正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																				
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	都市下水道の役割である市街地における雨水排除と冠水防止のため、流下機能の確保に必要な堆積土砂の撤去等の維持管理を継続実施する。